

4年	科目	学外実習	講義	集中講義	担当	西村賢治(E5), 野毛悟(E4)
電気電子工学科		Off-Campus Training A,B,C	選択	2(A), 1(B,C)		NISHIMURA, NOGE
授業の概要						
夏季休業中に2週間(A)または1週間(B, C)の期間, 企業または研究機関等において実習を行い, 授業で学んだ知識が, 生産現場または研究機関等でどのように役立てられるか研究, 開発, 生産活動を通じて認識, 体験するためのものである。実習先では一人の企業人として実務や責任, 仕事の進め方そして他社との関係を理解し, 自身に必要な技術や仕事に取り組む上で必要となるさまざまな能力を見極めると同時に, 実習を通じてキャリアデザインを明確化し, それにむけて成長するためのロードマップをつくり, 希望する業種・職種とのマッチングをはかる。						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応えて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
	○	5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)	E. 産業の現場における実務に通じ, 与えられた制約の下で実務を遂行する能力並びに自主的及び継続的に自己能力の研鑽を進めることができる能力と姿勢					
実践指針 (専攻科のみ)						
授業目標						
(1) 社会の中で働くことにより労働観, 職業観を育成する。 (2) 現場において実践的感覚を養う。 (3) 学問の実際的な意義を認識する。						
授業計画						
第1回						
第2回	◆夏休みに実施される学生が選択できる科目であるため, 次のような手順を踏んで実施される(回数は無関係)◆					
第3回						
第4回	プログラムの学習・教育目標, 授業概要・目標, スケジュール, 評価方法と基準, 等の説明					
第5回						
第6回	・指導教員(通常担任)が, 本人の希望を考慮しつつ, 受け入れ可能な企業を選定する。					
第7回						
第8回	・企業への依頼は, 教務係を通じて行う。					
第9回						
第10回	・実習内容は, 企業側担当者と協議し決定する。					
第11回						
第12回	・その後の指導は, 企業に依頼する。					
第13回						
第14回	・また, 実習生としての様子, 成果等の報告についても依頼する。					
第15回						
第16回	・実習終了後, 本人から実習内容, 成果の実習報告書を提出させる。					
第17回						
第18回						
評価方法 と基準	<p>【注意点】 実習中の通常の質問は配属先の担当者にまずは問い合わせること。 また, トラブル等が生じたときは学校にいつでも連絡すること 研修が主に行われる夏休みは, 教員は出張やお盆休暇や長時間にわたる研究室での実験をすることがあり, 電話連絡が付きにくいことがある。その場合, 通常の連絡には電子メールやFAXが好ましい。その日のうちに連絡が必要なら教員自宅への連絡も確実である。なお, 緊急連絡に際して担当教員と連絡できない場合は, 学生係に連絡のこと。</p> <p>【提出物】 実習先において実習報告書を作成する。 提出期限は「実習終了後速やかに」とする。(場合によっては配属先企業に定められた期日までに提出) 提出場所は配属先の企業, または担任である。</p> <p>【評価基準】 事前・事後研究での学生の対応(20%), 提出された報告書(20%), 企業担当者の評価(60%)として評価する。</p>					
教科書等	<ul style="list-style-type: none"> ・事前研修の教材は沼津高専の「学外実習のしおり」 ・実習中の教材は実習先による。 					
備考	<p>1. 試験や課題レポート等は, JABEE, 大学評価・学位授与機構, 文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2. 授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。</p>					